

環境経営レポート

(対象期間:2020 年 6 月～2021 年 5 月)



丸順商事有限公司



発行日:2021 年 7 月 9 日

1. 組織の概要

名称及び代表者名

丸順商事有限会社

代表取締役 矢部 要

所在地

本社事業所：東京都羽村市富士見平 2-1-14

瑞穂車庫：東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎 1307-4

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者：取締役 栗原 津巳 E-mail: t-kurihara@marujun-shoji.co.jp

担当者：取締役 木下 妙子 E-mail: k-taeko@marujun-shoji.co.jp

連絡先：042-554-2229 (TEL)

042-554-7889 (FAX)

事業内容

- 1) 一般廃棄物・産業廃棄物及び特定家庭用機器廃棄物の収集運搬業務
- 2) 一般廃棄物中間処理業（ふとん類）・浄化槽清掃業

事業の規模

・一般廃棄物収集運搬

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市	1 号	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日
青梅市	25 号	令和 2 年 3 月 17 日	令和 4 年 3 月 31 日
福生市	3107 号	令和元年 9 月 15 日	令和 3 年 9 月 15 日
瑞穂町	11-17 号	令和 2 年 3 月 5 日	令和 4 年 3 月 14 日
昭島市	243 号	令和 2 年 3 月 2 日	令和 4 年 3 月 31 日
武蔵村山市	13 号	令和 2 年 1 月 20 日	令和 4 年 1 月 19 日
入間市	31 号	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日

・一般廃棄物処分業（中間処理）

許可範囲・品目	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市（ふとん類）	2 号	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日

・浄化槽清掃業（収集・運搬）

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市	1 号	令和 2 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日

・産業廃棄物収集運搬

許可範囲	許可番号・許可年月日・有効年月日	許可品目
東京都	第 13-10-032171 号 令和 2 年 8 月 4 日 有効：令和 7 年 8 月 3 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（以上 11 種類）
神奈川県	第 01406032171 号 平成 30 年 11 月 28 日 有効：令和 5 年 9 月 10 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類（以上 10 種類）
埼玉県	第 01102032171 号 令和 2 年 11 月 13 日 有効：令和 7 年 11 月 8 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上 10 種類）
山梨県	第 01900032171 号 平成 29 年 7 月 3 日 有効：令和 4 年 7 月 2 日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上 7 種類）

・収集運搬車両及び営業車両

形式	積載重量	燃料	保有台数
塵芥車	3 t	ディーゼル	7 台
ダンプ車	2 t	ディーゼル	1 台
平ボデー車 (キャブオーバー)	4 t	ディーゼル	1 台
	3 t	ディーゼル	1 台
	2 t	ディーゼル	4 台
	0.35 t	ガソリン	1 台
バン	2 t	ディーゼル	1 台
脱着装置付コンテナ 専用車	4 t	ディーゼル	3 台
	3 t	ディーゼル	1 台
糞尿車	3 t	ディーゼル	1 台
粉粒体運搬車	10 t	ディーゼル	1 台
営業車	—	ガソリン	4 台
合 計			26 台

・収集運搬及び処理量（2020年6月～2021年5月）

一般廃棄物：1,389 t

産業廃棄物：3,722 t

浄化槽汚泥：520 t

廃家電類：1,236 台（テレビ 402 台・冷蔵庫 351 台・洗濯機 317 台・エアコン 166 台）

ふとん類の処理：12 t

・売上額（2020年6月～2021年5月）

43,010 万円（税抜き）

・設立年月日

昭和 42 年 11 月 1 日

・資本金

3,000 万円

・従業員数

36 名

・積替え保管施設

本社：積替保管面積：498 m² 上限量 8.0 m³

・一般廃棄物 中間処分（本社）

種類：ふとん類

処分方法：ふとんを裁断して布と綿に分離する

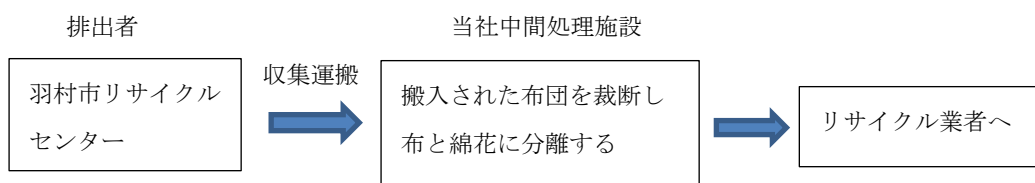
処理能力：0.2 t／日

・事業年度

6 月 1 日～5 月 31 日

・化学物質の取扱いはありません

一般廃棄物中間処理（ふとん類）フロー

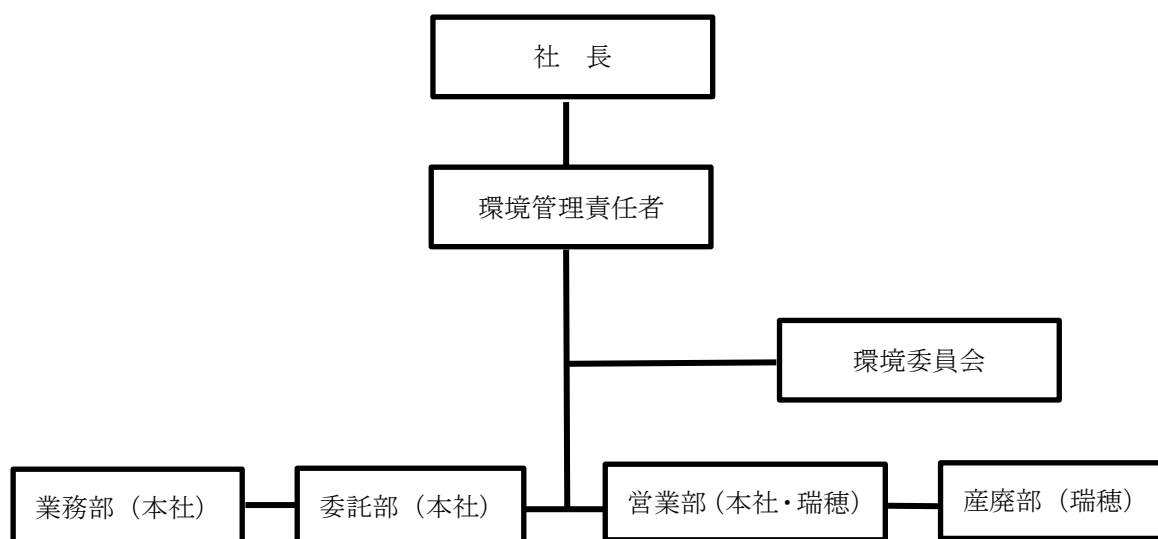


2. 対象範囲

登録組織名 : 丸順商事有限会社

関連事業所 : 瑞穂車庫

丸順商事有限会社 環境システム組織図



役割と権限

代表者（社長）	・ 環境経営方針を策定する。 ・ EA21 の実行に必要な資源（人、物、金）を用意する。 ・ 環境管理責任者を任命する。 ・ EA21 の全体的な取り組み状況を評価し、見直し必要な指示を与える。 ・ 課題とチャンスを明確にする。
環境管理責任者	・ 環境経営システム要求事項を確立し、実施し、維持することを確実にする ・ 環境経営システムの構築・運用状況を社長に報告する。
環境委員会	・ 環境マネジメントに関する全社で検討する場とする。社長を議長とし、毎月開催する。メンバーは社長、環境管理責任者、環境事務局及び各部門長とし、必要に応じて社長及び環境管理責任者が指名したものとする。環境委員会は職長会と兼ねて実施する。
部門長	・ 各部門の環境目標、活動計画を策定、各部門の環境マネジメントシステムの実行の総括、各部門の固有の役割を持つ。
全従業員	・ 環境経営目標、活動経営計画の実施。 ・ 環境に関する責任あるやり方で業務の実施。 ・ 問題があつた場合、部門責任者へ報告。

3. 環境経営方針

{ 基本理念 }

丸順商事有限会社は、廃棄物収集運搬業(一般・産業)・資源物(有価物)収集運搬業を通して、環境・安全を第一に考え、この美しい自然と歴史を次世代へ継承する環境保全活動に取り組み、市民・顧客・社会・そして全社員からの信頼・支持を継続的に維持し続ける企業を目指します。

{ 行動指針 }

1. 当社事業の特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。

- ①電力・収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②節水の徹底
- ③自社廃棄物の減量
- ④環境に配慮した事務用品、消耗品の購入
- ⑤地元地域・所属組織等の環境活動への積極的な参加
- ⑥顧客サービスの向上

上記について環境目標・活動計画を定め、定期的な見直しを実施し、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束した事を遵守します。

3. この環境方針は全従業員に周知する。

制定日：2013 年 1 月 11 日

改訂日：2020 年 9 月 18 日

丸順商事有限会社

代表取締役 矢部 要

4. 環境経営目標と実績

2019 年～2021 年度の目標

環境経営目標項目	単位	2018年度 実績(基準)	2019年度 目標	2020年度 目標	2021年度 目標
電力の使用量削減 (太陽光使用量)	(kWh)	15049 (3670)	14,898 (1%削減)	14,748 (2%削減)	14,597 (3%削減)
ガソリン使用の削減	(L)	4,434	4,412 (0.5%削減)	4,390 (1%削減)	4,367 (1.5%削減)
軽油1Lあたりの売上増大 注1)	(L)	(51,835)			
	(円)	7,452	7,601 (2%UP)	7,676 (3%UP)	7,824 (5%UP)
灯油使用の削減	(L)	940	930 (1%削減)	921 (2%削減)	1361 (2020年度の 1%削減)
総CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	154,457	152,912 (1%削減)	151,368 (2%削減)	149,823 (3%削減)
水使用量の削減	(m ³)	321	318 (1%削減)	314 (2%削減)	364 (2020年度の 1%削減)
自社廃棄物の削減	(kg)	2,051	2,030 (1%削減)	2,010 (2%削減)	1,989 (3%削減)
グリーン購入促進	品目	多品目購入	多品目購入	多品目購入	多品目購入
地域活動への 取組、参加	回数	11	12 (1回増)	13 (2回増)	30 (2020年度の 2回増)
新規顧客の拡大	件	25	30 (5件増)	35 (10件増)	40 (15件増)
回収漏れ件数の削減	件	52	42 (10件削減)	41 (11件削減)	40 (12件削減)

* 2018年度＝2018年6月～2019年5月

* 2017年度 東京電力調整後排出係数(0.474kg-CO₂/kWh)使用

* 2019年度 中央電力エナジー調整後排出係数(0.476kg-CO₂/kWh)使用

* 赤字は目標変更したもの

注1) 軽油削減目標は、売上金額/軽油使用量で算出し、1リットルあたりの金額目標とする。

2020 年度の実績

環境経営目標項目	単位	2018年度 実績(基準)	2020年度 目標	2020年度 実績	達成率	判定
電力の使用量削減 (太陽光使用量)	(kWh)	15049 (3670)	14,748 (2%削減)	14,986	98.4%	△
ガソリン使用の削減	(L)	4,434	4,390 (1%削減)	2,030	216.2%	◎
軽油1Lあたりの売上増大 注1)	(L)	(51,835)		53,099	105.5%	○
	(円)	7,452	7,676 (3%UP)	8,100		
灯油使用の削減	(L)	940	921 (2%削減)	1,375	67.0%	×
総CO ₂ 排出量	(kg-CO ₂)	154,457	151,368 (2%削減)	151,382	100.0%	○
水使用量の削減	(m)	321	314 (2%削減)	368	85.3%	×
自社廃棄物の削減	(kg)	2,051	2,010 (2%削減)	1,461	138.0%	◎
グリーン購入促進	品目	多品目購入	多品目購入	多品目購入	—	○
地域活動への 取組、参加	回数	11	13 (2回増)	28	215.4%	◎
新規顧客の拡大	件	25	35 (10件増)	33	94.3%	×
回収漏れ件数の削減	件	52	41 (11件削減)	46	89.1%	×

* 2018年度＝2018年6月～2019年5月

* 判定：◎＝110%以上の達成、○＝目標達成 △＝95%以上 ×＝95%未満

* 2017年度 東京電力調整後排出係数(0.474kg-CO₂/kWh) 使用

* 2019年度 中央電力エナジー調整後排出係数(0.476kg-CO₂/kWh) 使用

注1) 軽油削減目標は、売上金額/軽油使用量で算出し、1リットルあたりの金額目標とする。

5. 環境経営計画の取組結果とその評価

環境経営目標	具体的行動計画	実施状況	取組結果と評価
電力使用量の削減	エアコンの適正温度管理を実施する (冷房28℃・暖房20℃)	△	今年度はコロナの影響で換気を重点的に行ったので温度管理面では出来ませんでした。 (冷房:24℃、暖房:24℃設定) これは会社の指示の為問題なしとします。 不在する際の電気消灯は、徹底されました。 事務所内の遮光対策(よしずを設置)も実施されていました。 事務所で使用しているPCも省エネモードにて実施。 クールビズについても5月から10月まで実施(営業、事務員はボロシャツにて仕事をしている) 節電に対する作業意識は非常に高く持っており今後も同様に徹底して行きたい。
	定期的にフィルター清掃実施する	○	
	不在時の消灯と休憩時間消灯の徹底管理を実施する	○	
	稼動していない機械電源OFFの徹底	○	
	パソコンOA機器等、省エネモードに切り替え実施する	○	
	クールビズの徹底。(5月～10月)	○	
	ブラインドの調整による日射の遮断及び自然光の確保による照明効果の取り入れ実施する	○	
燃料(ガソリン、軽油)の使用量削減	アイドリングストップ実施する	○	アイドリングストップ等は日々の朝礼などで全運転者に徹底させており、実施もされています。 全車にデジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入しているため、その解析結果に基づいてドライバーに指導しています。 配車についても適切に行われていました。
	急発進、急停止、しない運転を実施する	○	
	不要な荷物は積まない	○	
	適切な配車を行い、無駄な動きを行わない	○	
灯油使用量の削減	室内温度16℃から20℃を目安として、温度管理を実施する	△	冬場は石油ファンヒーターを使用していますが、コロナの影響で換気を重点的に行った為、温度管理設定は出来ませんでした。事務所内でもできる限り日差しを取り入れるよう、心がけていました。 事務員はひざ掛け等を心掛け、ウォームビズは徹底されていました。
	不在時の消火の徹底管理	○	
	ウォームビズの徹底(12月～3月)	○	
水使用量の削減	水漏れの定期確認。(水道水の栓を確認)	○	節水用のホースノズル等の使用を心掛けており無駄な水を使用しない様、徹底されていました。 コロナの影響で手洗いを重点的に行ったので、いつも以上に水を使用していた。
	洗車時の節水(節水シャワーの使用等)	○	
	台所及びトイレ使用に対しての水管理を徹底を実施する	○	
自社排出廃棄物の削減	廃棄していた紙類を資源とする	○	紙類の再利用、シュレッダー化(事務所)は前期同様、徹底されていました。 事務所は、できる限りペーパーレス化を心掛けていました。
	外出先で発生させたごみ(コンビニ等)を社内に持ち込まない	○	
	機密書類はシュレッダーにかける	○	
	ダンボールなど繰り返し再利用する	○	

環境経営目標	具体的行動計画	実施状況	取組結果と評価
グリーン購入の促進	エコマーク認定品の購入に努めます	○	事務用品を購入する際には、エコマークのついたものを購入しています。
地域活動への取組・参加	会社周辺清掃を定期的実施する	○	今年度は、コロナの影響で地元主催の催し物が軒並み中止になったので、会社周辺清掃を重点的に行った。会社周辺のみならず、エリアを拡大して行いました。
	地元主催の催し物の参加	×	
新規顧客の拡大	現顧客に出向きお知り合いの事業所を紹介して頂き契約に結びつける	△	今年度もコロナの影響で営業活動を自粛させたので思う様に顧客廻りが出来ていませんでした。但し、会社への問い合わせが多かったので、新規顧客は思っていた以上に増えたと思います。
	会社へ問い合わせがあった新規顧客へ訪問し、契約に結びつける	○	
回収漏れ件数の削減	戸別収集時に急がず、1件ずつ確認しながら回収を行う	△	今年度は人員増加(新人が増えた)の為、結果的に回収漏れが増加してしまった。慣れた作業者がしっかりと指導して改善していきたい。

* 実施状況の評価基準 : ○=出来ている、△=ある程度出来ているがもう少し、×=出来ていない

地域活動及び会社周辺清掃状況

1) カーブミラー清掃 (2019 年 6 月実施)

***2020 年度は中止**

羽村市内に設置されているカーブミラーの清掃を羽村市建設防災協力会主催で実施。



2) 羽村市マナーアップキャンペーン (2019 年 7 月実施)

***2020 年度は中止**

羽村駅前でタバコ等のポイ捨て禁止キャンペーンを実施。

駅前周辺清掃及びポイ捨て禁止アピール(ティッシュ配り)を行う。



3) 羽村市防災訓練（2019 年 9 月実施） *2020 年度は中止

羽村市主催の防災訓練に羽村市建設防災協力会として参加。
倒木撤去、土砂撤去作業の訓練を行う。



4) 交通事故撲滅キャンペーン（2021 年 4 月実施）

東京都トラック協会多摩支部第 3 地区主催で交通事故撲滅キャンペーンを実施、河辺駅前においてティッシュ配り等を行った。



5) 羽村市産業祭（2019年11月2日、3日実施） ***2020年度は中止**

塵芥車を展示、市民（特に子供たち）を車両に乗車させ、楽しんでもらう。

また、会社の営業（遺品整理等の廃棄処理）もアピールしています。

会場内においてマナーアップキャンペーン（羽村市主催）も実施する。



6) 会社周辺清掃

主に祝日を利用して本社は会社周辺の道路及び近くの公園内のごみ拾い、
瑞穂車庫は会社前道路のごみ拾いを実施。

今年度は、エリアを広げて実施した。

本社前付近の道路のごみ拾い（13 回実施）

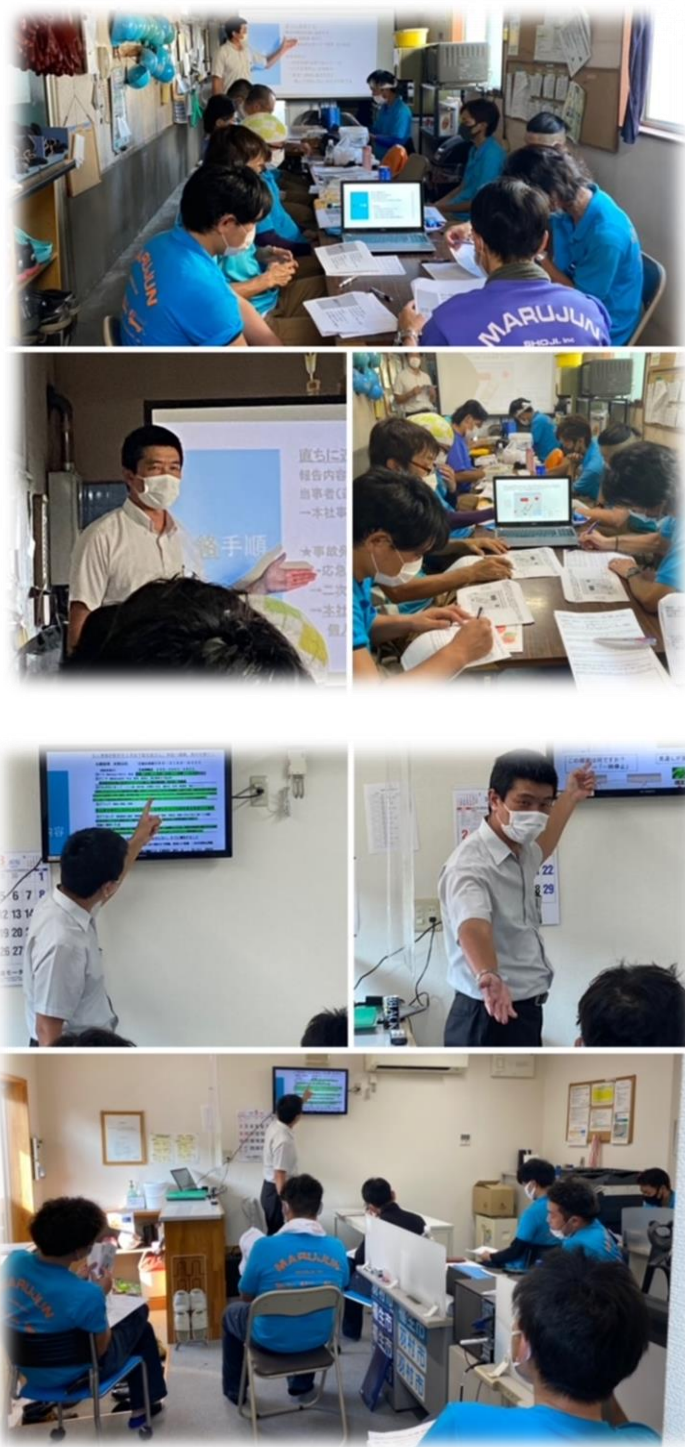


瑞穂車庫周辺道路のごみ拾い（14 回実施）



社内研修状況

本社事業所、瑞穂車庫において事故発生時の対応方法及び報告・連絡・相談の手順等の研修を行った。



6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無

関連法規	適合性
廃掃法施行令	適合
東京都暴力団排除条例	適合
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	適合
消防法施行令	適合
自動車 NOx 法・PM 法	適合
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	適合
使用済小型家電機器等の再資源化の促進に関する法	適合
フロン排出抑制法	適合
道路運送車両法	適合
道路交通法	適合
貨物自動車運送事業法	適合
使用済自動車の再資源化等に関する法律	適合
市条例（羽村市・青梅市・福生市・瑞穂町・昭島市・ 武蔵村山市・入間市）	適合
労働安全衛生法	適合

当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

また、関係当局からの違反等の指摘は過去 3 年間ありません。訴訟についてもありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

【全体の取組状況及び評価結果】

2021 年 6 月 30 日

No.	項 目	評価結果
1	環境関連法規制等一覧表 及び遵守状況のチェック 結果	異常なし 変更もなし
2	環境経営目標の達成度	『電気使用量の削減』 1 年を通してコロナ感染予防の為、換気を定期的に行っていたのでエアコンの使用効率が悪かった。また事務所の部屋が増設した事もあり目標達成になりませんでした。 『ガソリン使用量の削減』 主に営業車に使用していますが今期もコロナの影響で営業活動を自粛した為、大幅な削減となった。 『軽油 1L あたりの売上増大』 今期も売上が増加した分、軽油使用量も増えましたが、効率の良い走行ができたので目標達成できた。運転手もアイドリングストップ等のエコドライブ意識が年々高まってきた為と思う。 『灯油使用量の削減』 コロナ感染予防の為、換気を定期的に行っていたのでファンヒータの使用効率が悪かった。また事務所も増設しファンヒータの台数も増やしたのも影響し大幅に使用量が増加してしまった。 『水使用量の削減』 コロナ感染予防の為、手洗い・うがいを徹底させた事で使用が多かった。また水道水に設置した酸性電解水(次亜塩素酸水)及びウォーターサーバーの導入により目標達成できませんでした。 『自社廃棄物の削減』 事務所は紙の再利用の徹底、現場は分別徹底を行った成果がでたと思います。 『グリーン購入促進』 エコマークの用品を率先して購入するよう心掛けている。 『地域活動への参加・会社周辺清掃』 地域活動がコロナの影響で軒並み中止になった事もあり、会社周辺清掃を重点的に行った結果、目標を大幅に達成できた。 『新規顧客の拡大』 思うように訪問は出来なかったが問い合わせが多く、新規顧客獲得に繋がりましたが、目標達成にはなりませんでした。

2	環境経営目標の達成度	『回収漏れ件数の削減』 下期（12月・5月）に多く発生してしまい達成できなかった。 廃棄物量が多かった事と人員を配置転換させた事が要因です。
3	環境経営計画の実施状況	各従業員が環境に関する意識が高まり、実施については良好と判断致します。
4	問題点の是正・予防処置の状況	2件あげましたが、達成できなかった項目の原因は全て対策致しました。
5	外部からの苦情の有無	2件ありましたがすぐに対応・改善を行いました。再発の無いように全従業員に徹底。
6	緊急事態の訓練結果	本社現場：9月21日実施 瑞穂：9月22日実施。 本社事務所：9月24日実施 全て特に問題なし。
7	経営状況の変更	無し

【変更の必要性の有無】

No.	項 目	変更の必要性
1	環境経営方針	無し（2020年9月10日改訂）
2	環境経営目標	有り（水使用量・灯油使用量・ 会社周辺清掃の参加）
3	環境経営計画	無し
4	環境経営システム	無し

【代表者による全体の評価】

2020年度は新型コロナウイルスの影響により感染対策を最優先させながらの業務を行ってきました。環境目標の達成度については灯油・水の使用量が増加してしまいましたが、他の項目はほぼ達成できたと思います。達成できていない項目についても、理由がわかっているので目標変更をし、2021年度は達成できるようにしていきたい。また今年度は従業員が増えた事で、会社周辺清掃・地域活動の積極的な参加を増やすとともに、当社の強みである『人財』をより輝かすべく、自社及び外部の力もお借りして社員研修(幹部含む)を計画的に実施していきます。

2021年度も厳しい状況下での業務が予想されますが、エッセンシャルワーカー(※人々が日常生活をおくる上で欠かせない仕事を担っている人)としての使命を強く認識し、コロナ感染者ゼロを継続しながら全社員一丸となって目標達成に向かう組織づくりを目指していきます。